

転移性膵腫瘍に関する後ろ向き多施設共同研究のお知らせ

【目的】

膵臓にできる悪性腫瘍は様々で、その多くは膵臓癌（膵原発膵管癌）です。多臓器（胃や大腸や腎臓などの様々な膵以外のもの）から膵臓に転移する転移性膵腫瘍は稀で頻度が少なく、分かっていることも少ないです。頻度や診断方法や生命予後などを明らかにするために、多くの病院の転移性膵腫瘍のデータを収集・解析を行います。これから行うものでなく、すでに発見された患者様のデータを収集し、今後の医療に発展させていく目的で行っています。

【対象】

2005年1月1日から2015年8月31日までに病理組織学的に転移性膵腫瘍と診断された患者様となります。病理学的に診断された方のみ対象となっています。

【方法】

転移性膵腫瘍の原発（どこから転移してきたか）や割合、その頻度を調べます。

基本的な情報（年齢、性別、既往歴）や腫瘍情報（大きさ、個数、部位）、診断方法、治療法、予後を調べます。

【プライバシーの保護】

データ収集の際には、患者さん個人を特定しうる情報（個人情報）は院内で厳重に管理し、個人が同定されないよう匿名化した上でデータ収集、解析を行ないます。この取組、研究の成果は学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、その際にあなたのお名前や身元などが明らかになることはありません。

また、この取り組み・研究は各病院の倫理委員会の承認を得て、患者さんの権利が守られていることや医学の発展に役立つ情報が得られるであろうことが、複数の専門家により認められています。

当研究に関してご質問がある方や、対象となる方でご自身のデータが研究に利用されることを拒否される場合は、お手数ですが下記医師に連絡・相談頂ますようお願いいたします。

平日 9時~17時 近くの医療スタッフにお声掛け頂ますようお願いいたします。

主任研究者 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科部長 八隅秀二郎

副主任研究者 田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科医員 伊藤 嵩志

田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科医員 工藤 寧

田附興風会医学研究所北野病院 消化器センター内科副部長 栗田 亮

公益財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院

〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 TEL 06-6312-1221(代表)

【参加施設】

北野病院、大阪市立総合医療センター、日本赤十字和歌山医療センター、済生会中津病院、近畿大学医学部付属病院、大阪医科大学付属病院、大阪赤十字病院、大阪府立成人病センター、大阪市立豊中病院、京都医療センター、京都大学医学部付属病院、京都第二赤十字病院、京都府立医科大学付属病院、滋賀大学医学部付属病院、奈良県立医科大学付属病院、北播磨総合医療センター、神戸市立医療センター西市民病院、兵庫県立淡路医療センター、神戸大学医学部付属病院、福岡大学筑紫病院、久留米大学、香川大学医学部付属病院、川崎医科大学付属病院、岡山大学病院、倉敷中央病院、島根大学医学部付属病院、鳥取赤十字病院、鳥取大学医学部付属病院、鳥取市立病院、JA

尾道総合病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字原爆病院、山口大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院、松江赤十字病院、松江赤十字病院、京都桂病院、関西医科大学附属病院、大阪市立大学、天陽会中央病院、四国がんセンター、ベルランド総合病院、鹿児島大学、淀川キリスト病院、**天理よろず相談所病院(全44施設)**